

## 効果報告レポート

【事業者名】

スタンドバイ株式会社

【ツール名】

シャボテンログ

【ツールの機能分類】

発展的な学び

2023年2月



こころとからだの  
WEB健康観察・アンケートアプリ  
「シャボテンログ」

シャボテンログは、子どもたちが毎日こころとからだの状態を記録する、そしてアンケートに回答することで、「気づき」や「変化」を見える化するWEBアプリです。

子どもたちは、毎日の取り組みを通じて自分の状態を俯瞰し、自己管理能力を養います。

また先生は、子どもの変化に気づき、子どもとのコミュニケーション機会を持つこと、そして子どもの悩みを早期発見し対応できるようになります。

お問い合わせ窓口



いまのからだのぐあいは？



よい



すこし  
よい



すこし  
わるい



わるい

2月14日(月)の健康観察

体温(昨日の夕方)   °C

体温(今日の朝)   °C

かぜの症状  あり  なし  
せき・のどの痛み、鼻水など、どれか1つでも

強いだるさ  あり  なし

息苦しさ  あり  なし

# WEB健康観察「シャボテンログ」

「シャボテンログ」は心と身体の記録、相談機能及びアンケート機能を搭載したWEBアプリです。子どもたちは、毎日の取り組みを通じて自分の状態を俯瞰し、自己管理能力を養います。また先生は、子どもの変化に気づき、子どもとのコミュニケーション機会を持つこと、そして子どもの悩みを早期発見し対応できるようになります。



児童生徒

日々こころとからだのぐあいを入力。  
定期的にいじめアンケートに回答。

いじめ被害  
あなたは今月になって誰から

いまのからだのぐあいは？

よい すこしよい すこしわるい わるい

仲間はずれや無視をされた **必須**

1: まったくない 2: 1度だけある 3: 月に1度くらいある 4: 週に1度くらいある 5: 週に何度もある

教職員

児童生徒の変化や悩み、  
リスクにいち早く気づく。



<ダッシュボードへ

3年1組のいじめアラート







3年 1組 変更する

● 組織的対応をしてください ● 早急に組織で介入してください ● 常設委員会に相談してください ● いじめを見た

	2022
	3/6
1番 シャボテン...	●
2番 シャボテン...	●
3番 シャボテン...	-
4番 シャボテン...	-
5番 シャボテン...	-
6番 シャボテン...	-

## ■ EdTech ツールの概要

### ■ シャボテンログ機能一覧

機能名		詳細
身体と心の状態の記録		<ul style="list-style-type: none"><li>・設問は2問です。「身体の状態」と「心の状態」について選択式で入力します。</li><li>・タブレットの立ち上げが完了していれば、30秒程度で入力できます。</li></ul>
話したいボタン		<ul style="list-style-type: none"><li>・システム内には「話したい機能」を付加します（設定無も可能）。</li><li>・誰かと「話したいボタン」（アイコン）をクリックすると、話したい相手を選択できます。「話したい」と指名された先生の管理画面に、指名された旨の通知が表示されます。</li></ul>
WEB健康観察等の日次アンケート		<ul style="list-style-type: none"><li>・児童生徒が毎日、紙で体温等を提出している情報をシステム内で入力できます。</li><li>・朝食の有無や睡眠時間等、生活習慣に関する情報を入力できます。</li></ul>
保護者からの出欠連絡を受け取る		<ul style="list-style-type: none"><li>・保護者より、欠席、遅刻、早退の連絡を理由とともに受け取ることができます。</li><li>・学校が確認した後、各保護者のログイン画面に「確認済み」が表示されます（返信はできません）</li></ul>
STANDBY連携/アクセスコード記載		<ul style="list-style-type: none"><li>・匿名報告相談アプリSTANDBYWEBアプリの同線を設定できます。</li><li>・STANDBYの利用に必要なアクセスコードを学年別に表示することができます。</li><li>・※STANDBYをご利用の場合は別途費用がかかります。</li></ul>
いじめリスクアセスメントアンケート		<ul style="list-style-type: none"><li>・大学の研究成果を元に開発したアンケートシステム。一定の成果が証明されているアンケートの提供及び集計、分析結果サービスを提供します。</li><li>・アンケート回答結果に基づいたリスク度の高い子どもの情報は即時アラートにて知ることができます。</li></ul>

### ■ 利用料：児童生徒一人当たり250円（税別）/年

## 子どもの心身の不調に気づき、支援するための四つの取り組むべき課題

### 子どもとコミュニケーションをとる機会を増やす

子どもの些細な変化や問題に気づき、声かけの機会を増やすことができます。

### 子どもが自分の状態を振り返り、自己管理能力を養う

子どもは毎日自分の変化をグラフで振り返ることができ、自分の特徴を振り返り、自己管理能力を養えます。

### 家庭と学校のつながりをつくる

欠席が続く子どもとのつながりをつくることができます。欠席時の子どもの家庭での様子も把握しやすくなります。

### 先生の業務負担を軽減する

子どもが入力した内容は自動集計されます。また、注目すべき項目はアラートとして表示されるため、集計や確認の手間や負担が削減されます。

- 毎日、朝の会に活用する
- 自分の状態を毎日振り返ることで自己管理能力を高める / 先生は変化に気づく



## 活用事例（小学校）

対象	時間	1日の流れ
子ども	7:40～8:10	<ul style="list-style-type: none"> <li>7:40～：学校開門。登校後、玄関で手洗いや体温チェック、体温情報チェック用紙を提出する。</li> <li>～8:10：教室に入り、自分の端末を取り出す。朝の会開始までにシャボテンログにログインし入力する。</li> <li>※ただし、朝の会（8:10～）までに入力できなかった子どもは朝の会以降に入力する。</li> </ul>
先生	8:20～9:00	<ul style="list-style-type: none"> <li>校内を巡視し、子どもの様子を看取る。/ 各学級の健康観察表を回収し、内容の確認を行う。</li> </ul>
先生	9:00～10:10頃	<ul style="list-style-type: none"> <li>シャボテンログの内容を確認する。（「4択アンケート」で×が続いている子ども / 「話したいボタン」の利用 / 「日次アンケート」に回答をしている子どもはいないか</li> <li>欠席、遅刻、早退の情報をシャボテンログに記入する。</li> </ul>
先生	10:10～帰りの会	<ul style="list-style-type: none"> <li>養護教諭が「話したいボタン」を押された場合：子どもたちが遊びに外へ出る頃を見計らって、昇降口で「話したいボタン」を押した子どもに話しかける。</li> <li>他の先生が「話したいボタン」を押された場合：該当する先生が、「話したいボタン」を押した子どもに話しかける。</li> </ul>
先生	放課後	<ul style="list-style-type: none"> <li>他の先生に、特に「話したいボタン」を押した子どもへの対応の共有を行う。</li> <li>※ボタンを押した子どもの担任が、気になって対応についての確認を行うことも多い。結果、先生間のコミュニケーションの機会が増えている。</li> </ul>

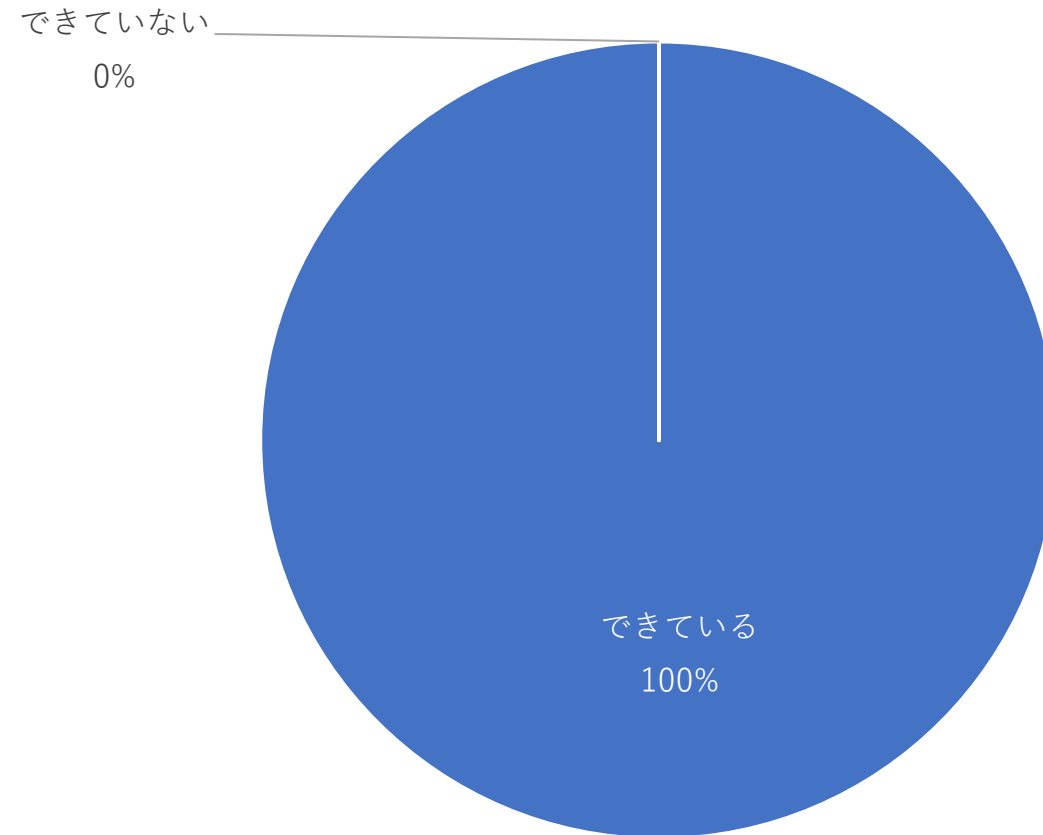
## 導入サポート一覧（すべて通常サービスの一環）

- ツールの初期設定及び稼働確認
- 管理職向け説明会（オンライン or オフライン）
- 担当教員、担任向け説明会（オンライン or オフライン）
- 保守メンテナンス（平日日中対応）
- 問い合わせ対応（平日日中対応）

- **学校等設置者数：3自治体**
  - 千葉県茂原市
  - 千葉県八街市
  - 兵庫県三木市
  
- **学校等教育機関数：28学校**



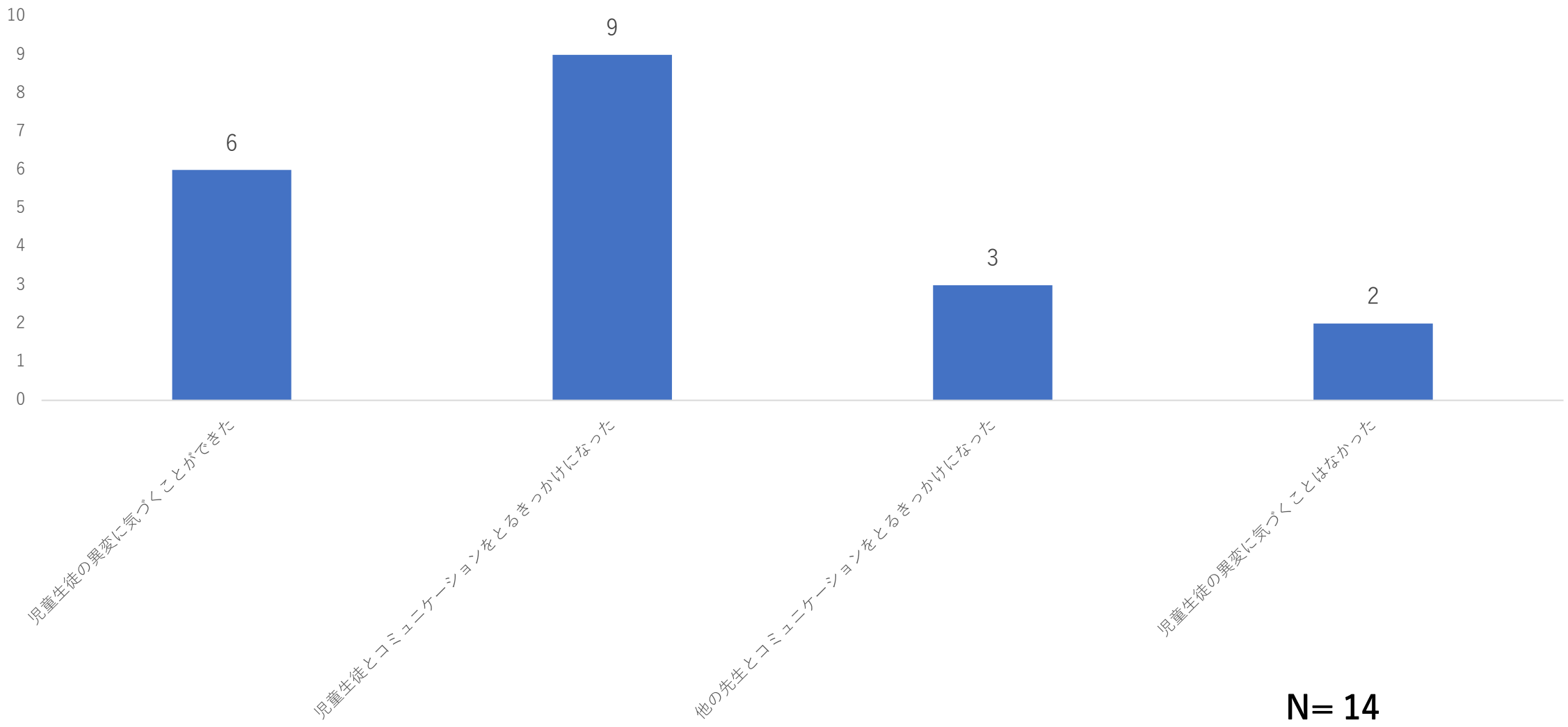
生徒は記録をつけることができますか？



N= 14

# ■ EdTechツールによる活用効果

こころとからだの記録をチェックされる中で、児童生徒の異変に気付くなど、児童生徒や他の先生とコミュニケーションを取るきっかけになってはいますか？（複数回答可）



### 教員のコメント感想

- 子どもと先生がコミュニケーションをとる機会が増えた。
  - 今までは子どもが紙に書いて相談箱に入れるやり方だったが、シャボテンログを導入したことによって、「話したいボタン」という新しい相談窓口が増えた。結果、子どもの相談先の選択肢が増え、また子どもから相談を行う機会も増えた。
- 子どもの悩みに気付く機会が増えた。
  - 深刻な悩みを持つ子どもは直接カウンセラーに相談することが多い。しかしちょっとした悩みや日常で嫌なことがあった子どもは、「話したいボタン」を活用する傾向にある。問題が深刻化する前に、早い段階で子どもの悩みに気付くことができるようになった。
- 子どもが自分自身の入力した内容を振り返ることもできるようになった。
  - 子どもは毎日、過去1ヶ月の4択アンケートの入力内容を確認することができる。その結果、自分の状態を客観視するようになった。
- 子どもの外見には現れない悩みや不安を知るための手がかりが増える。
- 毎日のデータが蓄積されるので、例えば1週間のデータをまとめて振り返ることができる。
- 生徒目線を考えてみても、アラートが出せるのは安心感につながっていると感じている。
- 日次アンケートの備考欄への自由記述内容から子どもの異変に気づけることがある。性別特有の悩みなど直接聞きづらいことでも書いてくれる。
  - 例) 生理痛や腹痛など。
- 子どもの事を良く見ていたり声かけをしたりしている先生は、シャボテンログでの子どもたちの回答に関する話を頻繁にしているように感じる。
  - 例) 備考欄に書いていた内容など。

## 導入における課題

導入校数が増えた際、以下の取り組みを効果的、かつ効率的に行うか工夫すること

- ツールの初期設定及び稼働確認
- 教職員向け説明会（オンライン or オフライン）

## 運用における課題

導入開始後、児童生徒の利用が定着するまでに、いかに各先生が負担感を感じず

子どものサポートを行うことができるか工夫すること

## 会社概要

<b>社名 創業</b>	スタンドバイ株式会社 2015年10月9日
<b>住所</b>	103-0004 東京都中央区東日本橋2-1-15 STR東日本橋 4F
<b>事業概要</b>	いじめを中心とした相談プラットフォーム「STANDBY」や出張授業、健康観察WEBアプリ「シャボテンログ」の提供
<b>取引先学校数</b>	1,072学校

## 沿革

<b>2015年10月</b>	ストップイットジャパン株式会社を設立
<b>2016年6月</b>	羽衣学園中学校で、匿名報告相談アプリ「STOPit」導入開始
<b>2017年5月</b>	千葉県柏市で「STOPit」を導入 日本で初めて自治体にSNS相談が導入される
<b>2019年4月</b>	岡山県で「STOPit」を導入 岡山県の実立学校にて運用開始
<b>2022年4月</b>	自社開発及び運用を行っている「STANDBY」の提供を開始 同月、社名を「スタンドバイ株式会社」に変更 名古屋市で「STANDBY」導入 導入学校が累計1,000校を超える

### 問い合わせ窓口

- メールアドレス : info@standby-corp.jp
- 電話番号 : 050-1744-4595
- 担当 : スタンドバイ株式会社 谷山